

専門教養
令和4年7月
60分

受験教科等
小・中学校共通 美術
中・高等学校共通 美術

注 意

- 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 問題冊子のページ数は、27ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 解答用紙に、必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効となります。解答用紙の【1】の欄には、受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマークしてください。【2】の欄には、氏名を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- この問題は、共通問題 1 ～ 4、選択問題 小 小・中学校共通、高 中・高等学校共通の各問題から構成されています。次の表に従って、解答してください。また、選択問題で受験校種以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

共通問題（全員が解答する）	
共通問題 1 ～ 4 （1ページ～21ページ）	
選択問題（受験校種により、いずれか一つを選択して解答する）	
小・中学校共通	中・高等学校共通
小 小・中学校共通 (22ページ～24ページ)	高 中・高等学校共通 (25ページ～27ページ)

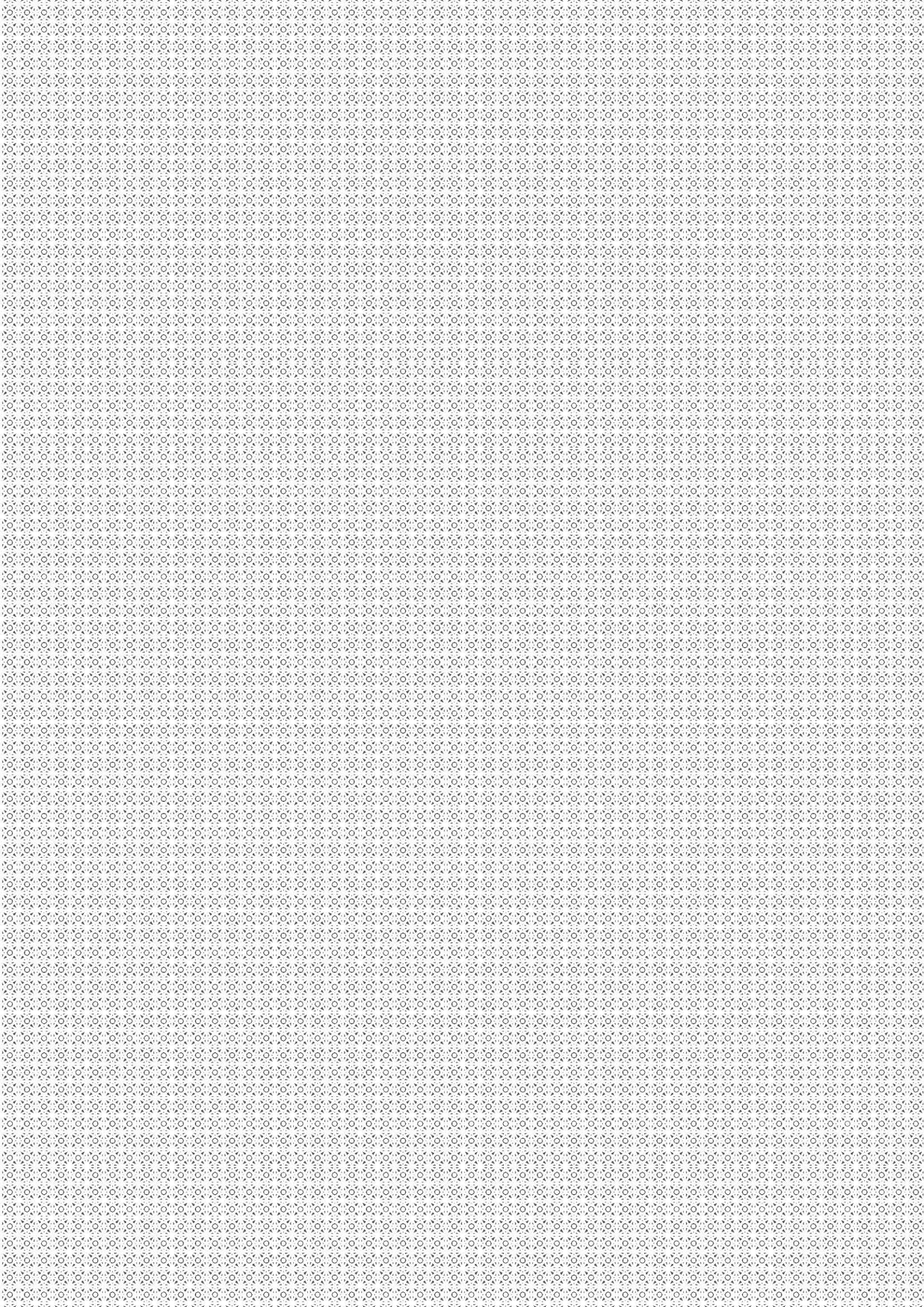
- 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。各解答欄に二つ以上マークした場合は誤りとします。
- 「解答番号は 1 。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



問題中に示した図については、特にことわりがなくても、原作となる作品の一部である場合や、必要に応じて部分的に修正を加えてある場合がある。

共 通 問 題

1 図画工作及び美術の表現に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の記述は、鉛筆素描に関するものである。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の **1～4** のうちのどれか。解答番号は **1**。

J I Sでは、鉛筆の芯の **ア** を9 Hから6 Bまでの17種類に分けている。また、表面が **イ** 紙では、黒鉛の粒子の定着が不安定でこすれたり消えたりしやすい。

- | | | |
|---|-------------|----------------|
| 1 | ア 濃さ | イ ざらついた |
| 2 | ア 濃さ | イ 滑らかな |
| 3 | ア 硬さ | イ ざらついた |
| 4 | ア 硬さ | イ 滑らかな |

〔問 2〕 絵具の特性に関する記述として最も適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 アクリル絵具は、アクリル樹脂を展色剤に用い、乾きが早く、乾くと水に溶けず耐水性になる。耐久性があり木材やガラスへの描画も可能である。
- 2 水彩絵具は、アラビアゴムを展色剤に用い、乾いても、水に触れると溶ける特徴がある。不透明性を生かした表現に適しているが、耐久性は高くないため紙以外の描画には適さない。
- 3 油絵具は、天然の鉱石や土、貝などを顔料として使用し、膠を展色剤とする。顔料自体に接着性はなく、描く際に展色剤を使用して支持体に定着させる。
- 4 新岩絵具は、ガラスに金属酸化物を加えて化学的にできた人工の鉱石を粉砕、精製した顔料を用い、乾性油を展色剤とする。独特の艶と透明感、盛り上げなどの可塑性があり、緩やかな固化速度が特徴である。

〔問 3〕 表現技法に関する記述として最も適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 インクや多めの水で溶いた絵具を筆に含ませ、画面上にたらしたり、息を吹きかけて散らしたりする表現技法をスプラッターリングという。
- 2 クレヨンなどの油性の描画材で図柄を描き、上から多めの水で溶いた絵具で彩色し、図柄をはじきだす表現技法をコラージュという。
- 3 凹凸のある素材の上に紙をのせ、その上からコンテ、鉛筆、クレヨンなどの描画材で、形をこすり出す表現技法をフロッタージュという。
- 4 色紙、印刷物、布、写真などを好きな形に切り抜いたものや、実物そのものを直接画面に貼り付ける表現技法をパチックという。

[問 4] 次の記述は、のこぎりの使い方の指導に関するものである。記述中の空欄 **ア** ～
ウ に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の **1～8** のうちのどれか。解答
番号は **4** 。

材を台上に載せ、手や止め木でしっかりと押さえて、**ア** をひく位置に合わせ、の
こ刃を当ててひき始める。また、ひき始めは、のこ刃の **イ** の方で、軽く4～5回、
ゆっくりとひいてのこ道を付ける。

両刃ののこぎりは、材の木目によって刃を使い分けるようにする。なお、木目を斜めに切
断するような場合には、**ウ** を使うよう指導する。

- | | | | | | | |
|----------|----------|----|----------|---|----------|------|
| 1 | ア | 親指 | イ | 先 | ウ | 縦びき刃 |
| 2 | ア | 親指 | イ | 先 | ウ | 横びき刃 |
| 3 | ア | 親指 | イ | 元 | ウ | 縦びき刃 |
| 4 | ア | 親指 | イ | 元 | ウ | 横びき刃 |
| 5 | ア | 中指 | イ | 先 | ウ | 縦びき刃 |
| 6 | ア | 中指 | イ | 先 | ウ | 横びき刃 |
| 7 | ア | 中指 | イ | 元 | ウ | 縦びき刃 |
| 8 | ア | 中指 | イ | 元 | ウ | 横びき刃 |

〔問 5〕 次の作品に使用した版画の版種として適切なものを下の**ア～ウ**から、版種の版とインク
の関係を模式的に表した図として適切なものを下のA・Bからそれぞれ選んだ組合せとし
て適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は

5

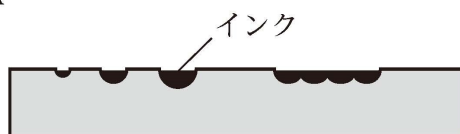
。

ア シルクスクリーン

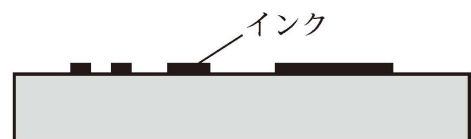
イ メゾチント

ウ リトグラフ

A



B



1 アーA

2 アーB

3 イーA

4 イーB

5 ウーA

6 ウーB

2

図画工作及び美術の鑑賞に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 6。

- 1 ロンドンに生まれ、光を色彩で表現しようと試みた。歴史画制作のかたわら身近なイギリスの自然を描き、天候と大気が風景に与える変化を追究した。イギリス風景画の黄金期を代表するロマン主義の作家である。
- 2 パリに生まれ、アカデミーの大家に師事をした。自然を丹念に観察し、大気や光を忠実に表現した叙情的な風景画で、新古典主義のサロンでも認められるほどの名声を得た。写実主義の先駆けである自然主義を代表する作家である。
- 3 パリ郊外の村に住み、野外の外光で風景画を描いた。風景的要素を人間に従属させ、労働する人々のポーズを通じてその苦痛と、それに打ち勝つ人間の尊厳を描こうとした。目に見えるものをありのままに描こうとした写実主義を代表する作家である。
- 4 パリに生まれ、色彩や光に関する科学理論を研究した。色彩表現を強く打ち出すために筆触分割の理論を打ち出し、筆触の単位を点描から小さな色面へと変化させていった、新印象主義を代表する作家である。

〔問 2〕 次の作品に関する記述として最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 7。

- 1 クラシック期のもので、古代ギリシアの彫刻家、リュシッポスの作であることが分かっている。オリジナルはブロンズでできており、その後、大理石によるコピーが制作されたと考えられている。
- 2 ヘレニズム期のもので、ロドス島の彫刻家によるものと考えられている。サモトラケ島で発見され、その後、作品が立っていた船首の部分が発見された。
- 3 ヘレニズム期のもので、古代ギリシアの彫刻家、パイオニオスの作であることが分かっている。オリンピアのゼウス神殿の正面に設置された高さ約10mの三角柱の上に立てられていた。
- 4 クラシック期のもので、古代ギリシアの彫刻家、プラクシテレスの作であることが分かっている。サモトラケ島で発見され、その後の研究で地上に降り立ったところが表現されていることが分かった。

〔問 3〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 8。

- 1 少年時代にジョヴァンニ・ベリーニに学んだ。主題は神話、宗教、肖像など多方面にわたり、色彩自体の価値を自由に表現した描法には独自のものがあり、晩年に至るにつれ運筆はますます激情的なものとなった。代表作に『ウルビノのヴィーナス』がある。
- 2 ミケランジェロ、ラファエロの影響を受け、ことに後者の様式をいっそう優美に展開させ、非現実的な空間に極度に引伸ばされた繊細優美な人体を描いた。版画にも優れ、イタリアでエッチングの技法を紹介した最初の版画家と言われる。代表作に『長い首の聖母』がある。
- 3 20代中頃にヴェネツィアに渡り、ティントレットなどの影響を受けた。写実的な肖像画を多く残したが、長身化され様式化された人物像が神秘的な擬似空間に炎のように燃え上る宗教画が特徴である。代表作に『無原罪の御宿り』がある。
- 4 建築家ブルネレスキに遠近法を学び、近代絵画の基調と言われる写実主義の基礎を築いた。絵画における新しい自然主義的なアプローチを提唱し、平面的な表現よりもむしろ三次元的なイリュージョンを重視した。代表作に『貢の銭』がある。

[問 4] 次の記述は、下の作品に関するものである。記述中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は **9** 。

18世紀のフランスを中心に流行した **ア** 様式を代表する作家の作品であり、豊かな色彩と **イ** な表現が特徴である。この様式では、室内や調度品の装飾には **ウ** に例えられる曲線が多く使われた。

- | | | | |
|---|------------------|--------------|-----------------|
| 1 | ア アールヌーボー | イ 装飾的 | ウ 植物 |
| 2 | ア アールヌーボー | イ 優美 | ウ ゆがんだ真珠 |
| 3 | ア バロック | イ 劇的 | ウ ゆがんだ真珠 |
| 4 | ア バロック | イ 装飾的 | ウ 巻き貝 |
| 5 | ア ロココ | イ 劇的 | ウ 植物 |
| 6 | ア ロココ | イ 優美 | ウ 巻き貝 |

〔問 5〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 10。

- 1 絵具を重ねるのではなく、細かなタッチで画面に並べる筆触分割により、光の反射を巧みに捉え、外光によって移り変わる一瞬の光景を描き出した。代表作に『印象・日の出』がある。
- 2 古典を学びながらも写実主義の考え方を取り入れ、影をわざと少なくし、明快な色使いと素早いタッチや筆さばきでパリの市民生活を鮮やかに描き出した。代表作に『笛を吹く少年』がある。
- 3 複数の視点から捉えることや、独自のデフォルメ、色の工夫など、構図やタッチ、色彩という純粋な絵画的な要素に価値があるという新しい考え方で作品を描き出した。代表作に『林檎とオレンジ』がある。
- 4 混色をさけた彩色と自由でのびやかな筆致によって、降り注ぐ光の表現や明るい雰囲気の中で過ごす人々を描き出した。代表作に『大水浴図』がある。

〔問 6〕 次の作品の作者として適切なものを下の**ア**～**エ**から、その作者に関する記述として適切なものを下のA・Bからそれぞれ選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**8**のうちのどれか。解答番号は

11

。

- ア** 葛飾北斎
- イ** 鈴木春信
- ウ** 東洲斎写楽
- エ** 菱川師宣

A 10か月ほどの活動期間で、極端に強調された個性的な浮世絵で話題となった。作品の背景には、絵の具に雲母の粉を混ぜた雲母摺の技法が使われた。

B 狩野派から西洋絵画まで学び、ダイナミックな構図で斬新な浮世絵を作り上げた。輸入されたベロ藍と伝統の藍を使用して、青の色調が生まれた。

- 1** **ア**－A
- 2** **ア**－B
- 3** **イ**－A
- 4** **イ**－B
- 5** **ウ**－A
- 6** **ウ**－B
- 7** **エ**－A
- 8** **エ**－B

3

図画工作及び美術の表現と鑑賞に関する次の各問に答えよ。

- 〔問 1〕 次の記述は、ある作品に関するものである。この作品として適切なものを下のア・イから、その作者として適切なものを下の A～D からそれぞれ選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～8 のうちのどれか。解答番号は 12。

作者の彫刻にとっても、また20世紀の抽象彫刻にとっても代表的な作品と見なされる『空間の鳥』は、単純化され、飛翔する鳥のイメージが抽象的な概念に置き換えられている。ロダンから決別した作者は、鳥の姿をそのままなぞるのではなく、鳥という生命体について人間の思い描くイメージを、純化させた形態のなかに凝縮させている。

ア

イ

- A アルベルト・ジャコメッティ
- B アレクサンダー・コールドー
- C コンスタンティン・ブランクーシ
- D ヘンリー・ムーア

- 1 アーA
- 2 アーB
- 3 アーC
- 4 アーD
- 5 イーA
- 6 イーB
- 7 イーC
- 8 イーD

〔問 2〕 次の作品**ア～ウ**と、その作者に関する記述A～Cとの組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は 13。

ア

イ

ウ

- A 写実主義を代表する作家で、その表現は堅固な形態や量塊に対する愛着と結びつき、なによりも視覚を重視するものとして印象主義の作家たちに影響を与えた。
- B 新古典主義を代表する作家で、色彩よりも線による表現を尊重し、鮮明な線と冷たい色彩そして厳格で明確な構図によって古代の美德を表現した。
- C ロマン主義を代表する作家で、色彩の補色の利用や、筆跡の残る大きなタッチを有効に用いるなど、印象派はもとより、後期印象派やフォービズムに影響を与えた。

- | | | | |
|---|-------------|-------------|-------------|
| 1 | ア －A | イ －B | ウ －C |
| 2 | ア －A | イ －C | ウ －B |
| 3 | ア －B | イ －A | ウ －C |
| 4 | ア －B | イ －C | ウ －A |
| 5 | ア －C | イ －A | ウ －B |
| 6 | ア －C | イ －B | ウ －A |

〔問 3〕 次の記述は、ある建築物と庭園に関するものである。この建築物と庭園として適切なものは、下の 1 ～ 4 のうちのどれか。解答番号は 14 。

中島を配した池や築山を設け、庭園を眺める位置に書院が建てられている。書院は伝統的な書院造に茶室風を加味した、数寄屋風書院造であり、雁行形に続いている。また、庭園は池泉回遊式庭園であり、園内の移動に伴い、変化に富んだ景観を鑑賞できる。

1

2

3

4

〔問 4〕 次の記述は、ある芸術家に関するものである。この芸術家の作品として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 15 。

フランスのラヴァルに生まれ、パリ市にある税関の職員として働きながら絵を描いた素朴派の画家である。正統的な形態把握、色彩用法、構図法にとらわれずに特異な画面を作りあげ、幻想的、夢幻的な絵画世界を作り上げた。

1

2

3

4

〔問 5〕 次の記述は、ある芸術家に関するものである。この芸術家の作品として適切なものは、下の 1 ～ 4 のうちのどれか。解答番号は 16 。

1890年オーストリアのトゥルンに生まれた画家である。ウィーンの美術アカデミー中退後、19歳で新芸術家集団を結成した。自画像を多く描いた。性や死をテーマとした作品も多く、当時、彼の表現は非常に過激であるとされ、世間には受け入れられなかった。

1

2

3

4

〔問 6〕 次の記述は、下の作品A・Bに関するものである。記述中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1 ～ 6 のうちのどれか。解答番号は **17**。

材木の節約や制作時の分業化が可能となる **ア** の技法の完成者とも言われる仏師定朝のあとに、仏像A・Bの作者である **イ** 派の仏師たちが登場した。仏像Aは、仏師たちが焼失した大寺院の復興のために、仏師定朝が完成させたと言われる技法を用いて短期間で制作した。また、仏像Bは仏師 **ウ** が、玉眼などの技法を用いて高僧を写實的に表現した。

A

B

- | | | | | | | |
|---|----------|----|----------|----|----------|-----|
| 1 | ア | 乾漆 | イ | 慶 | ウ | 運慶 |
| 2 | ア | 乾漆 | イ | 止利 | ウ | 鞍作鳥 |
| 3 | ア | 乾漆 | イ | 止利 | ウ | 運慶 |
| 4 | ア | 寄木 | イ | 慶 | ウ | 運慶 |
| 5 | ア | 寄木 | イ | 慶 | ウ | 鞍作鳥 |
| 6 | ア | 寄木 | イ | 止利 | ウ | 鞍作鳥 |

[問 7] 次の作品の作者として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、この作品に関する記述として最も適切なものは、下のB群の1～4のうちではどれか。解答番号はA群が 18、B群が 19。

【A群】

- 1 ヴィクトール・ヴァザルリ
- 2 ジャクソン・ポロック
- 3 ジャスパー・ジョーンズ
- 4 ロイ・リクテンスタイン

【B群】

- 1 描きあがったものだけでなく、絵を描く作家の身体的な行為の軌跡、描く行為自体に重要性を与えた、アクション・ペインティングの作品の一つである。
- 2 ありきたりだと思っていたものの見方を変えることで、新しいイメージを感じさせ、絵画としての存在感、現実感を表現して描いた、ネオ・ダダの作品の一つである。
- 3 大衆文化や消費社会を象徴する日常的で通俗的なものを断片的に取り出して、そのイメージをアート化して描いた、ポップ・アートの作品の一つである。
- 4 色面や線を使った錯視効果で画面がふくらんだり揺らいだりして見える、視覚的美術、光学的美術として描いた、オプ・アートの作品の一つである。

4 美術史及び美術教育史に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の作品の作者として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、その作者に関する記述として適切なものは、下のB群の1～4のうちのどれか。解答番号はA群が **20**、B群が **21**。

【A群】

- 1 ウィリアム・モリス
- 2 エミール・ガレ
- 3 ヘリト・トーマス・リートフェルト
- 4 ペーター・ベーレンス

【B群】

- 1 機械化への反対ではなく、産業に向かう方向で改革する目的は、「芸術と産業と手工の共同による実業活動の質の向上」とし、芸術家と企業家の協力により良質な工業製品の生産を目指したドイツ工作連盟の動きに関わった。
- 2 全ての自然模倣を厳しく退けて、絵画を形態と平面と色彩の自立的な組織として理解し、感情や個性を締め出し、芸術における合法則性と構造性が観照されることを理念としたデ・ステイルの動きに関わった。
- 3 反復模様と幾何学的な硬い曲線、水平性と垂直性を重視したデザインは「生活の中に芸術を」という理想を実現するため、新しい材料を使い、安く大量生産できる質のよいデザインを作ろうとしたアール・デコの動きに関わった。
- 4 産業革命が引き起こした自然破壊、粗悪品の氾濫から、健全な社会と工芸の在り方を提案し、手仕事によって日常生活に美を回復させ、工芸と芸術を再び統合しようとするアーツ・アンド・クラフツ運動に関わった。

〔問 2〕 次の記述は、ある芸術家に関するものである。この芸術家として適切なものを下のア～エから、この芸術家の作品を下の A・B からそれぞれ選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～8 のうちのどれか。解答番号は

22

。

桃山時代から江戸時代初期の画家で、『山水図襖』では、大徳寺に残る宋元画や真珠庵の曾我派の襖などに対する研鑽から、独特の余白造成と真行草の使い分けに成功し、水墨画を近世的意匠に高めた。そして、『松林図屏風』などの水墨画の傑作が生まれた。

画風は、狩野派を意識した宋元画摂取、あるいは永徳風巨大樹木を用いた和漢総合様式に特色がある。

- ア 尾形光琳
- イ 長沢蘆雪
- ウ 長谷川等伯
- エ 円山応挙

A

B

- 1 アー A
- 2 アー B
- 3 イー A
- 4 イー B
- 5 ウー A
- 6 ウー B
- 7 エー A
- 8 エー B

〔問 3〕 次の作品に関する記述として最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 23。

- 1 1920年代から第二次世界大戦前まで、芸術の都パリで、次々と展開される芸術運動に関係なく独自の画風を作り出した、「エコール・ド・パリ」と呼ばれた画家のうちの一人の作品である。
- 2 19世紀末から20世紀初頭にかけて、人間の内部に潜む感情を独特の色彩と形態、筆触で描いた、ドイツを中心として展開された表現主義の作品である。
- 3 19世紀末から20世紀初頭にかけて、自然主義やリアリズムに対して内面的な観念を暗示しようと展開された象徴主義の作品である。
- 4 19世紀末以来、追究されてきた表現の一つの結論として興った、無彩色と三原色、平面性などを重視した抽象主義の作品である。

〔問 4〕 次の記述は、近代日本美術教育に関するものである。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **24** 。

東京大学のアメリカ人教師 **ア** は、西洋画の、自然を迫真的に描写する技術ばかりを日本人が学ぶ必要はなく、むしろ妙想の表現手段として優れている、日本固有の美術を振興すべきであると主張した。その後、教え子である岡倉天心とともに、普通教育の図画は、工芸の基礎としても図案作成にも役立つ美術画法でなければならず、**イ** を採用すべきであると説いた。

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|----|
| 1 | ア | フェノロサ | イ | 鉛筆 |
| 2 | ア | フェノロサ | イ | 毛筆 |
| 3 | ア | ローウェンフェルド | イ | 鉛筆 |
| 4 | ア | ローウェンフェルド | イ | 毛筆 |

〔問 5〕 美術教育に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **25** 。

- 1** エリオット・アイズナーは、美術による教育と科学教育の差異について考え、芸術は想像力と創造性を中心にする総合化の活動であり、科学が発展するための創造的契機もまた芸術的な思考方法に根をもつと指摘した。
- 2** フリードリヒ・フレーベルは、開発した美術教育カリキュラムで、従来の子供の創造性に基づいた製作活動を主とした美術授業の形態に加えて、批評的領域、歴史的領域を構成内容に設定し、DBAE理論に基づくカリキュラムの先導的な役割を果たした。
- 3** フランツ・チゼックは、子供の表現に興味をもち、児童美術教育の実験を行い、工業振興のための功利的美術教育を否定し、「子供を認め、子供の表現世界を認める」創造性教育を美術教育の実践を通して提案した。
- 4** ハーバート・リードは、子供の本来の自己活動は神性の自己表現であり、子供はそれを通して自らの能力や素質を展開させるとし、教育の役割は人間の創造的活動を側面的に援助し、神性を開発するものであるとした。

選 択 問 題

22ページから27ページまでの選択問題 **小** 小・中学校共通（22ページ～24ページ）、
高 中・高等学校共通（25ページ～27ページ）のうちから、表紙の指示に従って、一つを選択し解答せよ。

小 小・中学校共通

〔問 1〕 材料の扱い方や特性に関する記述として適切なものは、次の **1**～**4** のうちのどれか。解答番号は **26**。

- 1** 合板は、木材を薄く剥いで単板を作り、板の木目を交互に直交させて、この単板を奇数枚接着したもので、伸縮の狂いは少ないが、強度が安定せず割裂しやすい。
- 2** 紙は、機械漉きの場合は、漉き網の流れていく方向に平行に繊維が並ぶため、縦目と横目があり、縦と横で紙の強さが異なっている。
- 3** パスは、クレヨンに比べて混色の効果が少ないので、ドローイングのための描画材料と考えた方がよい。
- 4** 油粘土は、可塑性に優れているが、作品として残すには焼成するか、石膏などで型取りをする必要がある。

〔問 2〕 次の作品の作者として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、この作品に関する記述として最も適切なものは、下のB群の1～4のうちではどれか。解答番号はA群が 27、B群が 28。

【A群】

- 1 オディロン・ルドン
- 2 サルバドール・ダリ
- 3 パブロ・ピカソ
- 4 フランシスコ・ゴヤ

【B群】

- 1 1823年のスペイン内乱の時期に描かれた「黒い絵」と呼ばれた壁画の一つである。この壁画において人間の暗闇にひそむ狂気や残酷さをえぐり出したものである。
- 2 1890年頃までのモノクロームや素描に限定して制作していた作品の一つである。人の心の奥底にある得体の知れない思いを異形のイメージに変換して提起した。
- 3 1936年に始まるスペイン内乱の予感を表現している。この作品には『茹でいんげん豆を配した柔らかな構造物』という副題がある。
- 4 1937年4月にスペインの地方都市が、ナチス空軍による無差別爆撃を受けて多数の死傷者が出たことに衝撃を受けて制作されたものである。

〔問 3〕 小学校学習指導要領図画工作の「各学年の目標及び内容」の〔第3学年及び第4学年〕の「内容」の「A表現」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 29。

- 1 造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。
- 2 造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。
- 3 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- 4 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

〔問 4〕 中学校学習指導要領美術の「各学年の目標及び内容」の〔第1学年〕の「内容」の「A表現」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 30。

- 1 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- 2 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 3 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。
- 4 使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

高 中・高等学校共通

- [問 1] 次の記述は、色彩体系に関するものである。記述中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の 1 ～ 4 のうちのどれか。解答番号は **26** 。

顕色系の代表的な色彩体系である **ア** は、日本においても J I S に採用されており、これを基に開発された日本独自の色の体系に P C C S がある。また、混色系の代表的な色彩体系には **イ** がある。これは、理想的な白、黒、純色を設定し、物体色の色票を配列したものである。他にも国際照明委員会が定めた C I E 表色系があり、これは **ウ** の原理に基づき、全ての色は R G B の混色により成り立っているという考え方から、任意の色を R G B の混合量により表示できるとする物理的測定方法である。

- | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------|
| 1 ア オストワルトシステム | イ マンセルシステム | ウ 加法混色 |
| 2 ア オストワルトシステム | イ マンセルシステム | ウ 減法混色 |
| 3 ア マンセルシステム | イ オストワルトシステム | ウ 加法混色 |
| 4 ア マンセルシステム | イ オストワルトシステム | ウ 減法混色 |

〔問 2〕 次の作品の作者として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、その作者に関する記述として適切なものは、下のB群の1～4のうちのどれか。解答番号はA群が 27、B群が 28。

【A群】

- 1 アンドレ・ドラク
- 2 アンリ・マティス
- 3 モーリス・ド・ヴラマンク
- 4 ラウル・デュフィ

【B群】

- 1 フォーヴィスム運動のリーダー的役割を果たしたが、フォーヴ的な画風からすぐに脱し、均衡のとれた、純粋で晴朗な芸術を目指した。シンプルな色面と形態の調和を追求し、最晩年の1940年頃以降、切り絵の制作に傾倒して新たな境地を開いた。
- 2 ゴッホに深く傾倒し、フォーヴィスム形成に大きな役割を担った。1910年頃セザンヌの造形に影響を受け、キュビスムに向かうが、その後、暗い色彩、激しい筆触で、フランス的表現主義ともいべき風景画を制作した。
- 3 セザンヌ芸術の重要性を早くから認識した作家で、1903年から1914年頃の作品にはその感化が各所にうかがえる。1905年から1906年には典型的なフォーヴィスムの作家であったが、第一次世界大戦後は主題、様式ともにより伝統的なものに回帰していった。
- 4 1905年頃フォーヴィスムに転じ、以後、明るい色彩と軽快なリズムによる独自の画風を確立した。挿絵をはじめ、水彩画、版画も多数制作し、1937年パリの万国博覧会の際、電気館のために大壁画を描いた。

〔問 3〕 中学校学習指導要領美術の「各学年の目標及び内容」の〔第 1 学年〕の「内容」の「A 表現」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 29。

- 1 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- 2 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 3 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。
- 4 使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

〔問 4〕 高等学校学習指導要領芸術の「美術Ⅱ」の「内容」の「A 表現」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 30。

- 1 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。
- 2 自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成すること。
- 3 造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めること。
- 4 映像メディアの特性を生かして独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性や効果について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練ること。

